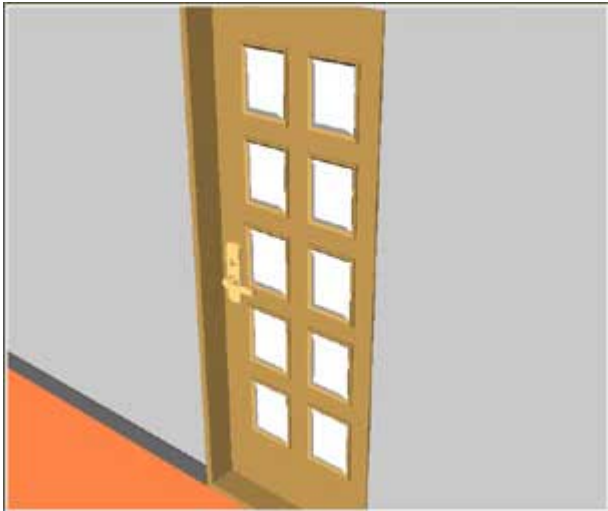


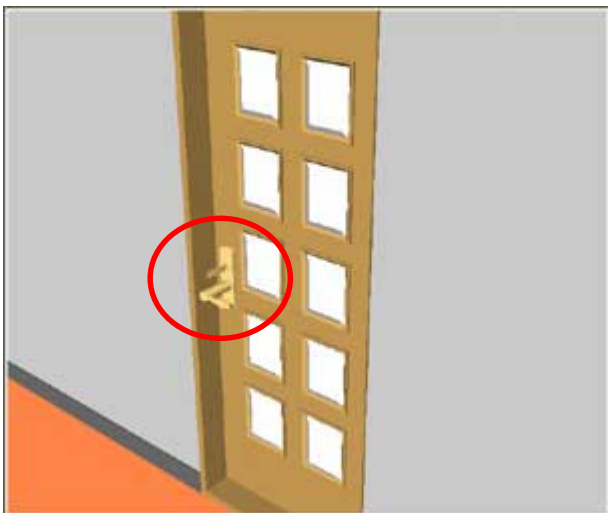
ドアとフレームを別々に配置する

添付の開口部の部品は、フレーム部分とドア部分が一緒になった部品で登録されています。壁に設置した場合、壁厚に応じて固定領域外にドアのストレッチがかかりドアの形状が変形してしまう（取手など）場合があります。そのようなケースを回避する操作例です。

別々に配置した場合



添付部品をそのまま配置した場合



操作手順

添付部品「ドア-T18」を例にして操作します。

1. 部品リストから「ドア-T18」を選択して編集ウィンドウを開きます。階層メニューからフレームの形状部分だけを非表示にし、設置面の設定を壁配置から床配置（床に置く）に設定し直して、別名保存で新規（ここでは「ドア-T18」とします）に部品登録します。

* 部品の形状の階層によっては、指定の形状を非表示にできない場合があります。

2. 壁に「ドア-T18」を配置します。

配置した部品の編集ウィンドウを開きます。階層メニューから操作1とは逆にフレーム以外の形状を非表示にして、固定領域の奥行の設定を削除します。

フレームだけが表示になった状態の部品に、新規登録した部品「ドア-T18」を追加します。

位置を調整したらウィンドウを閉じてモデリングウィンドウに反映させます。

以上が操作方法です。上記の方法を使用するとドアを開いた状態にすることもできます。